



TICA

—NEWS—

Vol.26 秋号

発行

富山市国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (076)442-1109 FAX (076)442-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



The Duke University Chapel

十字架で象徴されるキリスト教では、聖堂本体も十字形のものが多い。約5年間もの歳月をかけ1935年6月2日に完成された豪壮なチャペルは、1875席もあり毎週日曜日にミサが行われ、また、コンサートやリサイタルなど、年間22万人以上の人たちが訪れます。ダーラム市で最も愛されている場所の一つです。

会員募集

広げよう友情の輪

OWARA DANCE in TOYAMA

1999. 8. 7 (土)

富山まつりのメインイベント「越中おわら踊り」に当協会も参加しました。日中の強い日差しが少し和らいだ7時から城址公園大通りでは、情緒豊かな胡弓の響きに2,100人が優雅に踊り大勢の見物客を楽しませました。

当協会チームは、会員と富山在住の外国の人たちです。「日本伝統文化の紹介「おわら踊り」」の講座で教わった踊りをとまどいながらも熱心に真剣に輪踊りで流しました。

ゆかたの裾からジーパンに、スニーカーが覗くスタイルで踊る姿は見た目にも楽しく、また、踊りの合い間に編笠を被ったりして記念写真をパチリ。「スバラシイ思い出をありがとう!」と、スーダン、インド、バングラディッシュ、タイ、中国、韓国の人たちみんな汗を流して暑い!暑い!「アツイです。心もあつーいですね!」そして、踊り終えた時、冷たい番茶を飲んでみんなは、手を取り合っ
て熱い感動の汗を流して喜び合いました。



本番前の最後の練習



踊りの列にすっかりとけこんで...



さあ! はじまりです



今夜は最高! インドのルーベンセンさん



プラカードを持つラマンさん(バングラディッシュ)と踊る張さん(中国)と姜さん(韓国)



「私もプラカードを...」とフィリピンのサバラさん



編笠チョットタイベン! ガージーさん(スーダン)

日本伝統文化の紹介

講座 「おわら踊り」 7月18日



講師の模範演技



講師の指導で練習



練習の成果を輪踊りで

中国、アメリカ、ブラジル、ロシア、韓国など11ヶ国の留学生や研修生ら30人が参加しました。「越中おわら踊り」についてその意味や説明を聞いて模範演技を見学した後、「おわら踊り」に挑戦しました。講師から指導を受けて「富山まつりで踊りましょう」と複雑な振りの踊りを繰り返し練習しました。

委員会報告

外国人 お嫁さん交流会

日本の男性と結婚した人、家族で富山に生活している人など外国のお嫁さん達に日本の生活習慣、文化、食生活などを紹介したり、また、いろいろな悩みを聞いたり相談を受けたりしています。



日本の夏の料理



7月29日
エルフ富山

簡単に作れる涼しげな料理で暑さを乗り切りましょうと、料理教室を開きました。メニューは、しょうがごはん、そうめん、かぼちゃのゴマ酢かけ、焼きなす、トマトときゅうりのサラダ、杏仁豆腐など。しょうがごはん、焼きなすは、特に好評でした。

浴衣着付け教室



8月19日
当センター

「浴衣を自分で一度着てみたい」などの要望に付け教室を開きました。「浴衣は、初めて着るが意外に風が入って涼しい」などと、参加者たちはお互いに浴衣姿を見せ合っていました。

韓国の家庭料理



9月16日
エルフ富山

当協会のハングル講師 姜慶淑さんの指導で韓国の家庭料理「ビビンバ」と「トック（韓国のおぞうに）」を作りました。みんなで作ったごちそうでおいしくたのしく交流しました。

ボランティア委員会

'99 SUMMER INTENSIVE JAPANESE CLASSES

短期日本語講座



8月3日
～7日
当センター

この講座は、「日本語ボランティア入門クラス」の実践も兼ねて既製の教科書を使わず、手作りの教材で組み立ててあります。「夏季短期日本語講座」は、今年で3年目になります。中国、韓国、カナダ、オランダ、オーストラリアなどの受講者たちは、5日間の講座を熱心に学習しました。

International Speech Academyクラス



講師 浜崎智仁氏
富山医科薬科大学教授

9月21日
当センター

魚、特にその油が健康に良いことなど『魚の油と健康について(Fish oil and Health)』の基調講話を聴いた後、これらの関連問題について座談並びに討論を行いました。

これらの講話、座談、討論などすべて英語で行われました。

JET青年との富山近郊の名称探訪・親善の集い



9月23日
富山市科学文化
センター

JET青年と国際教養委員会通訳ガイドのメンバーは英語による説明、意見交換などで、相互の親善を深めました。

〈コース〉内山邸、五百羅漢、民俗民芸村、富山県水墨美術館、富山市科学文化センター、富山県近代美術館

国際教養委員会

日本伝統文化の紹介 華道



講師 堀田順子さん

9月26日
当センター

日本の秋を代表する鶏頭など草花を生けて日本の文化にふれました。「花を生けるとは、草花を切って、挿し、切った花に再び新しい命を与えて美しく生かすことです」の説明にみんな感動！

地域交流委員会

寄稿

ご寄稿ありがとうございました。これからも、みなさまの声を届けていきたいと思いますので、よろしくご協力下さい。

チャースウン ユー ハオ

加深友好!

ホームステイで友好を深めて

協会会員 藤永 広美



富山市民国際交流協会の人たちと富山まつり(おわら踊り)にゆかた姿で参加した中学生達(右2人は秦皇島市中学生)

秦皇島市中学生友好訪問団一行24名が8月5日から4日間、富山市を訪問しました。中学生たちは、富山市内の中学生宅にホームステイをして、日本の家族と生活を体験したりしました。我家でも王子威さんがステイして娘の翔夏と仲よしになりました。

娘の翔夏は、北京生まれの北京育ちで昨年の9月より富山に来て、現在は、南部中学校に通っております。久しぶりに母国の中学生に会ってなつかしように、うれしそうに話しが弾み、お互いの近況や勉強のこと、また、富山に来た時のことばの壁や新しい環境のことなどつらかった話もしておりました。そして、中国にいた頃の思い出話など、私たちは家族一緒にたのしい時を過ごしました。

富山まつりにも参加して、ゆかたを着たりして大よこびで思い出もたくさんできたホームステイのホストの日々でした。



王 子威さん(右)と自宅前で

港湾21青少年交流

協会会員 浮橋 美頭

ウラジオストク商業港と伏木富山港の友好港提携協定が平成4年に行われ、それに基づいて「港湾21青少年交流」が始まった。富山から3回目の訪問となる今回は、7月23日から5日間の予定で新湊市、高岡市、富山市の中学生20名が富山空港からウラジオストク便で出発した。

その2日目、ウラジオストク商業港から船で1時間半の対岸にある施設で夏期休暇を過ごしている子供達(5才~18才約200名)との交流。島の栈橋に着いた時、まず、民族衣装で正装した3人の少女が塩を添えた大きなパンを持ち(大切な人を迎える儀



式という)、そして、施設の近くまで延々と子供達が2列に並んで拍手の出迎えには圧倒された。

交流会の幕開けはロシアの歌や踊りから始まった。民族衣装に身を包み舞台狭しと披露してくれる。時には、会場からも湧き起こる大合唱となり、日本語での「ふるさと」の歌のサービスもあった。国の誇り、民族の誇りはこのようにして表現されるものなのか、身が震えるほどに心に染み渡る思いがあった。

富山からは、「こきりこ」など民謡を歌や笛の合奏でお礼の演奏をした。見渡す限り何もない浜の草原や小さな湖での乗馬やボート遊び、バレーボールやサッカーの試合など交わす言葉も心と心の交流が行われた。最後には、みんなでロシアのフォークダンスを楽しんだ。小さな子どもから高校生も、男の子も女の子も心から楽しんでいるのが感じられてこちらまでうれしくなった。

生きることを楽しむ気持ちを、すなおに表現することをとかく私達は見失いがちになってはいないかと考えさせられる思いになった。

若い世代の交流が、21世紀にこそ平和な地球を築きあげることを期待したい。

台湾大地震・トルコ大地震被災者救援「募金箱」を設置しました。

みなさまのあたたかいご協力をお願いします。みなさまの善意は、日本赤十字社を通して贈ります。

'99とやま国際フェア

～世界の観光と物産展～ は、今年も「ヨーロッパを、アジアを、世界各国を楽しんでほしい」と、輸入品の紹介や観光情報、そして、抽選会などの催しが開催されました。ブランド物のアクセサリーを扱うブースや、健康用品、じゅうたん、家具を扱うブースなど70を超えるブースに大勢の来場者が訪れました。



当協会でもブースを設け協会のPRに努めました。

7月2日～4日
富山テクノホール

ニーハオ
你好!
こんにちは

ワンチャン
王暢
ウオーシ
我是
私は オウ チョウ です。



「日本の花卉園芸のソフト・ハード両面を研修するために富山に来ました。7月～8月の2ヶ月間に富山で学んだ先端技術などを最大限に生かし秦皇島市の花卉や園芸の振興に努めたい」と意欲的に話し、当センターへ日本語の勉強に通っていました。

秦皇島市から農業研修生として来富された王暢さんは、秦皇島市山海関蘭峰花卉園芸センターの副社長で21才のミニスカートが似合うとてもチャーミングな中国美人でした。

お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで

TEL (076)442-1109
FAX (076)442-3807

国際交流フェスティバル'99

- ・と き 11月6日(土) 午後1時～午後5時
11月7日(日) 午前10時～午後5時
- ・ところ 富山市民プラザおよび大手モール
- ・内 容 ステージ公演・国際交流団体活動紹介
ブース・パネル展示・ワークショップ・
映画及び写真展示など

※ ボランティアスタッフ募集中!

国内研修 “国際交流先進都市に学ぶ”

- ・と き 11月20日(土)～21日(日)
- ・ところ (財)豊田市国際交流協会
- ・定 員 20名程度
- ・会 費 20,000円(予定)

海外研修

- ・と き 2000年2月9日(前日夕方出発予定)～13日
- ・ところ マレーシア
日本語協会・現地の人々との交流・県内
企業視察・クアラルンプール市内観光・
マラッカ観光など
- ・定 員 20名程度
- ・旅 費 120,000円(予定)
- ・申し込み 12月21日まで(予約金 20,000円)

異文化交流しませんか!“日本伝統文化講座”

日本舞踊	10月17日(日)	当センター 7 F
茶 道	11月28日(日)	当センター 7 F
1999年を送る会	12月19日(日)	当センター 1 F

“新講座” 受講生募集

ロシア語入門サークル	第2土曜日午後1時
ブラジル・ポルトガル語入門サークル	第1土曜日午前10時

第20回外国人による日本語弁論大会 主催 青船会

- ・と き 11月7日(日) 午後1時
- ・ところ サンフォルテ

国際ソロプチミスト富山認証25周年記念

ルーマニアで活躍の 天満敦子ヴァイオリンコンサート

- ・と き 11月14日(日) 開場 午後1時30分
- ・ところ 富山国際会議場大手町フォーラム
- ・参加費 大人 3,000円 中・高校生 1,000円

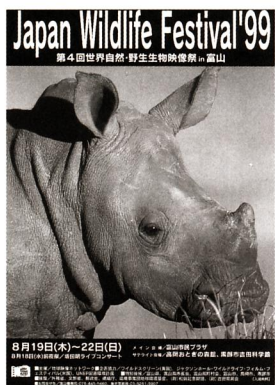
1999 チャリティ・クリスマス 主催 富山YMCA

- ・と き 12月11日(土) 午後6時
- ・ところ 県民会館 7 F キャッスル
- ・会 費 2,500円(予定)

J・W・F '99 in Toyama

地球映像ネットワーク主催

第4回世界自然・野生生物映像祭 in 富山が、今年も富山市民プラザなどを中心に開催されました。世界21ヶ国から300本以上のフィルム参加があり、回を重ねるごとに内容が充実してきました。今年の大賞を受けた「真正粘菌の生活史一進化謎・変形体を探る」の制作者樋口源一郎氏は、93才で受賞での情熱的な発言は集まった人々に勇気をあたえてくれました。入場者数も多く若い人が自然の生きものの生き方と環境問題を理解してくれる良い機会を提供できたものと思われる。引きつ



8月18日~22日

づき映像祭が今後も発展していくことを期待したい。当協会では、通訳のボランティアとして多くの会員が参加しました。一協会理事 小川弘氏 談一



大バーベキュー大会



7月23日~24日
立山少年自然の家

富山県日韓親善協会では、夏季恒例のバーベキュー大会を開催しました。今年で4回目を迎えた交流会は74人の多勢の人たちが参加しました。

野菜を切ったり、腹いっぱい食べたり、そしてみんなで後片付けして、ワイワイガヤガヤのたのしい2日間、親善を深め、交流を広げました。

トロッコ電車で露天風呂



7月5日、日本語ボランティア受講者の皆さんと猿飛峽、鐘釣へ行きました。山間の木々の緑をわたる



みんなで、ハイポーズ!

涼風は、さわやかで下界のうっとうしさをちょっと忘れさせてくれました。川原の露天風呂の心地良かったこと…。楽しい一日でした。

当協会日本語ボランティア
講師 梅田和美さん

♥好きだから もっと知りたい オーストラリア♥

今、行きたい国ナンバーワン 人気度急上昇の国 オーストラリア をもっと知ってもらおう!と富山日豪ニュージーランド協会などの主催で開催されました。様々な角度でオーストラリアを紹介し、理解を深め、友好親善の輪を広げることが目的です。

富山出身の在ブリスベン日本国総領事館、総領事坂東眞理子氏の基調講演「日本とオーストラリアー違いを越えて」のほか、セミナーやトークショーや交流パーティーでフレンドリーな交流をたのしみました。



9月18日
名鉄トヤマホテル

10月は国際協力月間です

編集後記

記録的な猛暑の夏も過ぎてさわやかな秋が訪れました。トルコ大地震。死者数、不明者数そして被害の程度など新聞の一面に大きな活字で報じられる数字をみて言葉を失ってしまいました。そして、また、台湾大地震。「天災は忘れたころにやってくる」と言うけれど、日本人には阪神大震災はまだ記憶に新しい。トルコという国名は知っているが、その国については「遠い国」そして、「トルコ行進曲」や以前に流行った「飛んでイスタンブール」などが頭に浮かぶぐらいです。台湾は、日本と歴史的なつながり、経済・文化的関係が深い。当協会にも、台湾の人が、よく訪れて交流しています。どんなに遠くでもみんな同じ地球人です。隣人の大災害と受け止めて、トルコの人たちに、台湾の人たちに、援助の手を差し伸べたいものです。すぐに駆けつけて…というわけにはいきませんので募金の協力しか思いつきません。当協会でも、台湾大地震・トルコ大地震被災者救援「募金箱」を置いて、みなさまからの温かいご協力をお願いしています。

Vol. 26、秋号に、たくさんのご寄稿をいただきました。これからもみなさまのご投稿をお待ちしております。

広報委員長 岡田昌代